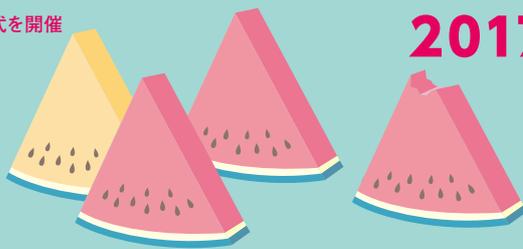


- ▶ 書体デザイン初挑戦で見事金賞獲得 タイプデザインコンペティション 2016表彰式を開催
- ▶ 展示会のご案内：東北最大のイベント!! SOPTECとうほく2017
- ▶ フォント あ・ら・かると：「丸フォーク」
- ▶ メンズDTP!!：Acrobat DCのアップデートとAcrobat 2017について
- ▶ イベント情報

今月の
フォント

- 本 文：ゴシックMB101(R) + アンチックAN(R)
- 見出し：陸隸



2017.7

www.morisawa.co.jp/about/morisawa-news

書体デザイン初挑戦で見事金賞獲得 タイプデザインコンペティション 2016表彰式を開催

「タイプデザインコンペティション 2016」には、前回は上回る739点（和文部門205点・欧文部門534点）の応募作品が寄せられ、2016年11月に行われた審査では、これらの応募作品のなかから独創性や審美性を追究した作品に贈られる「モリスワ賞」（金賞・銀賞・銅賞・佳作3点）、モリスワからの製品化にふさわしい優れた作品に贈られる「明石賞」が選出されたほか、Webでの投票によって選ばれる「ファン投票」（和文部門・欧文部門）各2点の受賞作品が決定しました。

2017年5月11日（木）、「タイプデザインコンペティション 2016」の表彰式をUDXシアター（東京・秋葉原）にて開催しました。

式典の冒頭、主催者を代表して受賞者のみなさまへの祝辞を述べた森澤彰彦（当社代表取締役）は、「今回のタイプデザインコンペティションは多くの国から非常に多くの応募があり、いずれも2014年のタイプデザインコンペティションに比べて約2倍という大きな伸びを示しております。一旦中断しておりましたタイプデザインのコンテストでしたが、また活況を呈してきたと感じています」とタイプデザインへの興味の高まりを語りました。

そして、表彰式後に行われる特別セミナー「グローバル・タイプデザイン」について触れ、「日本が今、グローバル化の波に飲み込まれていく中で、フォント制作も大きな転換期を迎えています。私たちが日本語フォントを中心に開発をしておりましたが、新たに他国語への展開というチャレンジにも取り組んでいます。現在、『MORISAWA

PASSPORT』などで利用いただいている言語数は約170言語にのぼりますが、今後もさまざまな言語に対応し、フォントのバリエーションを増やしていく必要があります。そうした変化の中でフォント制作において、どのようなことが行われており、今後、どのようなことが行われていくのかということ、特別セミナーにてお伝えできればと思っております」と挨拶を締めくくりました。

表彰式は、モリスワ賞和文部門の表彰から行われました。プレゼンターを務めたのは欧文部門

の審査員および審査員長を務めたマシュー・カーター氏。「しまなみ」で金賞を受賞した松村潤子氏、「月映え」で銀賞を受賞した小澤直子氏、「なつめ」で銅賞を受賞した豊島晶氏、「雁楷書」で佳作を受賞した大庭三紀氏、「tggk02」で佳作を受賞した多田遼太郎氏の6名が順に紹介され、受賞者各氏には壇上でマシュー・カーター氏から賞名と受賞作品が刻まれたトロフィーが授与されました。

欧文部門では、「Vonk」で金賞を受賞したバル



▲会場には多くの書体の愛好家に参加した。

▲ともにモリスワ賞金賞と明石賞とのダブル受賞となった松村潤子氏（左）とバルト・ヴォレプレヒト氏（右）。



▲表彰式には国内外の受賞者が参加した。

ト・ヴォレブレヒト氏、「Rododendron」で銀賞を受賞したイタカ・ヤネチコヴァ氏、「Abelha」で銅賞を受賞したミシェル・デール氏とジュリアン・ブリエ氏がそれぞれ表彰を受け、続くファン投票の表彰では、株式会社モリサワ 代表取締役 森澤彰彦から、受賞者4名のうち「間取りフォント」で受賞した竹上紗矢香氏にトロフィーが授与されました。

明石賞の表彰では、モリサワ文研株式会社 代表取締役社長 森澤典久がプレゼンターを務め、「しまなみ」で和文部門明石賞を受賞した松村潤子氏、および「Vonk」で欧文部門明石賞を受賞したバルト・ヴォレブレヒト氏が再び登壇。両部門ともにモリサワ賞の金賞とのダブル受賞であることが紹介されると会場は大きな拍手に包まれました。

トロフィー授与のあとには両氏による受賞スピーチが行われました。松村氏は二賞受賞の驚きとともに、「普段はグラフィックデザインの仕事をしており、タイプデザインはこれが初めての経験です。楽しく作った書体がこのような結果を迎えることができ、本当に嬉しく思っております」と喜びを伝えました。そして、「しまなみ」が広島県尾道市と愛媛県今治市を結ぶ「しまなみ街道」をイメージして作ったというエピソードや、現在、製品化に向けて制作を進めているという現状を話し、「みなさまに使っていただけるような質の高いフォントを目指して頑張っていますので、楽しみにしていただければと思います」と続けました。

ヴォレブレヒト氏は「このような素晴らしい賞をいただくことができ、大変名誉に思っております、また幸せに思っております」と話し、「この書体はオランダ・ハーグの王立芸術アカデミー（KABK）

で、タイプメディア修士課程として取組んだ書体です。そこでいろいろなアイデアやスケッチを作りました。指導教授や仲間たちが自分をプロフェッショナルなレベルに上げてくれたのだと思います」と感謝の言葉を述べました。

表彰式の最後には、マシュー・カーター氏による総評が行われました。

「今回はタイプデザインコンペティションが新しいシリーズになってから3回目となります。すべてが素晴らしく成功したコンペティションでしたが、今回とくに顕著なのが、前回に比べてエントリー数が倍増したということでしょう。これはモリサワが全世界を周ってコンペティションの認知度を上げたこと、

たくさんさんの学校を訪問された成果でしょう。また、流行だからという理由で賞を与える作品がひとつのスタイルに限定されることもなく、バラエティに富む受賞作が出たということも、非常にいいサインではないかと思えます。審査員にとっても多くのエントリーの中から選ぶことができたというのは、とても幸せなことでした。コンテンポラリーな作品の中でも本当に最高のものを集め、最高のものに賞を与える。このコンペティションは非常に高いレベルで国際的なスタンダードを築きつつあると思えます。次のコンペティションでも審査員が驚くような、高い水準の応募作品が数多く集まることを期待しています」と締めくくり、表彰式は幕を閉じました。



▲審査員長を務めたマシュー・カーター氏



印刷分野における東北で最大規模のイベント「SOPTECとうほく2017」が、今年も7月7日(金)・8日(土)の2日間、仙台卸商センター 産業見本市会館「サンフェスタ」で開催されます。2年に一度の頻度で開催されていた印刷機材展「TOGAS」が「SOPTEC」と名称を変え、ハード中心の機材展からソリューションを中心としたイベントとなったのは2004年のことです。それ以降、転換するメディア環境のなかで『印刷ビジネスを考える』展示会として毎年開催されています。

「SOPTECとうほく」は、その名 (Solution Of Printing Technology Conference) が示す通り、印刷分野における技術交流をコンセプトとした展示会です。今回は、「収益を生み出す『現場力』を育てる」をテーマに掲げ、26講座のセミナーと78社の出展が計画されており、印刷業界で働く方々のみならず、情報産業に関わりを持つ広い分野からの来場者で賑わうことでしょう。

■ 主な出展内容 (モリサワ)

◆ MVP7
データベースと連携し、自動で効果の高い可変印刷物を作成するソフトウェア「MVP7」。シンプルな操作と豊富な日本語組版設定で、宛名、DM、名



刺、ナンバリング、プライスカードなど可変データを扱うさまざまなアイテムにご活用いただけます。

◆ MCCatalog+
観光ガイド、広報誌、地域情報誌、レストランメニュー、施設案内など、多言語コンテンツをWebブラウザやスマートフォンなどで手軽に閲覧できるクラウドサービスです。日本語・英語・中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語・タイ語・ポルトガル語の7言語による多言語コンテンツの同時配信のほか、自動音声読上げ機能により、アクセシビリティに配慮したコンテンツ配信が行え、インバウンド施策にも活用できます。

◆ MC-Smart 3
学習教材や学術書などの数式や表組を多く含む高度な組版、辞書や名簿のようなデータ処理が有効な制作で威力を発揮する組版編集ソフトウェア「MC-Smart 3」は、広報誌や記念誌のような

身近なお仕事でも活用されています。Wordとも親和性が高く、DTP制作の効率化を実現し、安定した組版品質でマンパワーを最大限に発揮できるソフトウェアです。



◆ LayoutSquare【New】
さまざまなシステムに組込んでご利用いただけるレイアウトエンジン「LayoutSquare」は、速く・美しく・読みやすいドキュメント生成が可能でWeb to Printのクオリティを高めます。DMや伝票、名刺などバリエーション印刷に対応したレイアウト機能をモジュール化し、Web API連携が可能なソフトウェア開発キット (SDK) として提供します。みなさまのご来場をお待ちしております。

永 フォント あら・かると

丸フォーク

「フォント あら・かると」では
毎号、ひとつのモリサワ書体を
ご紹介します。

今回は「丸フォーク」です。

今月のあらかるとは、スマートでかつチャーミングな書体、「丸フォーク」をご紹介します。「丸フォーク」は、端正でスマートな雰囲気を持つオリジナル書体「フォーク」をもとに誕生しました。縦画に比べてスマートな横画、しだいに細くなるハネやハラ、緩やかなカーブなど、「フォーク」独特のエレメントをそのままに、先端を丸く処理したことで、明るくソフトな魅力が加わりました。それによって書体に親近感が湧き、終筆に向かって細くなるカーブは、よりしなやかさを増しています。

ウエイトはR・M・B・Hと4種類あり、文字セットはAdobe-Japan1-4に準拠したProフォントとして提供されるため、デザイン書体でありながらもさまざまな文章を滞りなく組むことができます。

一般的な丸ゴシック系の書体やデザイン書体と比べ、よりまじめに内容を伝えることができるため、商品パッケージ・広告・テレビテロップなど、正確な情報を少しキュートに伝えたい時などに最適です。

「丸フォーク」は、『MORISAWA PASSPORT』をご契約のお客様はいつでもインストールしてご利用いただけます。『MORISAWA Font SelectPack 1 / 3 / 5』、およびWebフォントサービス『TypeSquare』でもご利用いただけます。



●使用例

Cafe & Bread

ほくほく
パン屋さん

焼き上がり: 10時、15時
営業時間: 10時~18時

20代女性に空前の人気を誇る
流行りのオシャレ雑貨店!

サロメの夢

“The Dream of Salome”
Select Shop

イケテル&ルーキーの メンズDTP!!

イケメンの「イケテル先輩」と
勘違い系新人「ルーキー君」のドタバタ制作室

今回のテーマは — Acrobat DCのアップデートと
Acrobat 2017について

ルーキー：先輩！Acrobat DCがアップデートされましたね！

イケテル：ああ、少し前にアップデートがあったな。

ルーキー：これ、何が変わったんですか！？

イケテル：お前、なんでも俺に聞けばいいと思ってるだろ。今回は説明してやるが、次からは自分で調べてから聞くんぞ。

ルーキー：すみません！先輩の説明分かりやすいから、つい…。

■Acrobat DCの2017年4月のアップデート内容

イケテル：追加になった機能から比較的良好に使いそうなものを3つ説明しよう。1つ目は「MacでのMicrosoft Office形式からのリッチなPDFの作成」だ。例えばハイパーリンクや文書内部のリンク、目次がライブリンクとして作成されるようになったので、後から設定しなおす必要がなくなったんだ。

ルーキー：へー！WordからのPDF変換が便利になりそう！

イケテル：そうだな。2つ目は「ハイライトしたテキストのコピー」だ。ハイライトしたテキストを、右クリックメニューを使用してコピーできるようになった(図①参照)。

ルーキー：ん？今までできなかったんでしたっけ？

イケテル：注釈機能のハイライトを使用していると、文字選択ができなかったんだ。だからコピーできなくて困ることが時々あったんだよな。

ルーキー：なるほどー。

イケテル：3つ目は「プリフライトの機能強化」だ。いくつか機能強化が

あったんだが、例えば「PDF/UA」の問題の修正と検証ができるようになったんだ(図②参照)。

ルーキー：えーと、PDF/UAって何ですか？PDF/X-4とかはよく使いますけど…。

イケテル：これはアクセシビリティを高度化することを目的としたPDF規格だ。例えば音声読上げソフトで読上げられるように、きちんと文字コードが取出せる状態である必要がある。たまに文字がコピーできないPDFがあるだろう。

ルーキー：確かに！うーむ、PDFにもいろいろあるんすねえ。

■Acrobat 2017について

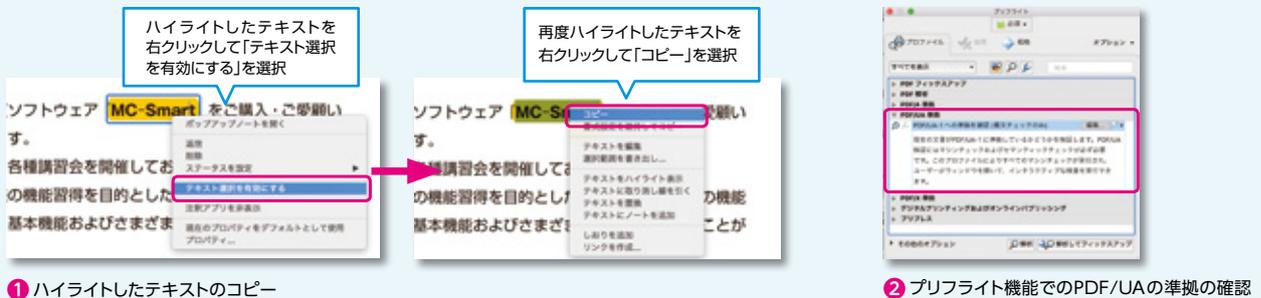
イケテル：あと、6月にAcrobat 2017がリリースされたのは知っているか？

ルーキー：なんすかそれ？DCの次のバージョンっすか？

イケテル：まあそうなんだが、**永続版にのみ適用されるアップグレード**なんだ。実は永続版とサブスクリプション版のAcrobat DCでは機能に違いがあって、永続版では削られている部分があるんだ。

ルーキー：ええっ、そうだったんすか！？

イケテル：今回のアップグレードは永続版の機能をサブスクリプション版に近づける内容になっている。ただ、今後のアップデートでも機能に差が出るだろうから、自社でどちらを使っているか把握して運用していくことが必要だな。



イベント情報

SOPTECとうほく2017

会期：7月7日(金)・8日(土) 9:30~17:30

会場：仙台卸商センター 産業見本市会館「サンフェスタ」

主催：東北地区印刷協議会

(青森、岩手、秋田、山形、福島、宮城県印刷工業組合)

SOPTECとうほく2017実行委員会

テーマ：収益を生み出す「現場力」を育てる

モリスアワース
展示ゾーン 23番

編集後記

先日、初めて秋田へ行って参りました。当然、仕事ではありますが、稲庭うどんをはじめ地元産の野菜を使った美味しい食事もいただき、初めての秋田は良い思い出を持ち帰ることができました。そんな秋田で、インターネットビジネス関連で忙しくされているお客様にお会いし、全国からお仕事を受けておられることを知りました。今やビジネスは、働く場所ではなく、手掛けた分野が重要なものかもしれません。

✉ E-Mail: m-news@morisawa.co.jp

発行:株式会社モリスアワ 企画・編集:プリンティング事業部 営業企画部
※記載されている会社名・商品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

モリスアワ www.morisawa.co.jp

株式会社モリスアワ

本社 〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25 Tel.06-6649-2151
東京本社 〒162-0822 東京都新宿区下高井町2-27 Tel.03-3267-1231
仙台支店 〒984-0051 仙台市若林区新寺1-3-8 Tel.022-296-0421
名古屋支店 〒460-0002 名古屋市中区丸の内1-5-10 Tel.052-201-2341
札幌営業所 〒001-0010 札幌市北区北十条西2-6サウスシティ2F Tel.011-700-0112
広島営業所 〒730-0805 広島市中区十日市町1-6-27広島印刷会館1F Tel.082-296-1114
福岡営業所 〒812-0013 福岡市博多区博多駅東1-3-25 Tel.092-411-5875
鹿児島営業所 〒890-0051 鹿児島市高麗町11-3 下田平ビル2F Tel.099-252-2255